

郡山国道事務所における主要事業のポイント

強い東北の創造

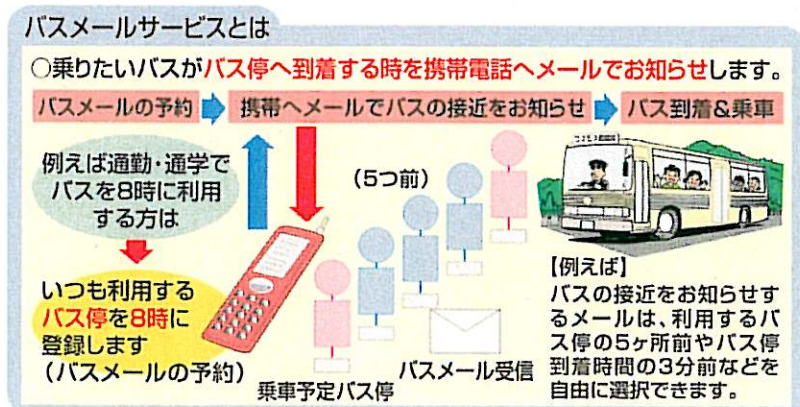
- 郡山市街地の渋滞解消、交通安全の確保を目的とした地域高規格道路、一般国道4号『あさか野バイパス（郡山バイパス）』において、針生地区の立体化（針生高架橋）の完成4車線化に向けた工事を推進します。（P4別紙-1）
- 交通混雑の緩和を目的とした、地域高規格道路121号『会津縦貫北道路』において、起点～湯川I.C間の改良工事及び、日橋川橋上部工・下部工工事を推進します。（P5別紙-2）

安全で安心できる地域づくり

- 休日や観光シーズンの交通混雑の解消や冬期の交通安全確保を目的とした、一般国道49号『猪苗代拡幅』において平成19年度は残区間調査・設計を推進します。
- 大規模地震発生時における緊急輸送路を確保するための橋梁耐震補強については、一般国道49号『金山橋』（郡山市田村町～安積町）外8橋について工事を実施し「橋梁耐震補強3箇年プログラム」を完了します。
※橋梁耐震補強工事の実施に際しては「橋梁耐震補強3箇年プログラム(H17～H19)」が策定されており、平成19年度まで32橋について実施することとしています。（P6別紙-3）
- 走行車輛の安全を確保するため、一般国道4号『郡山市安積二丁目』において、交差点改良事業に向け測量・設計に着手します。
- 近隣の小中学校の通学路として利用されている一般国道49号『平田村遅沢地区』、『郡山市田村町山中地区』、『会津坂下町福原地区』の歩道狭隘区間において、誰もが安全・安心して快適に通行できる歩行空間の確保を目的とした歩道整備に向け用地買収に着手します。
- 走行車輛の安全を確保するため、一般国道49号『郡山市熱海町安子島地区』において、ゆずり合い車線の整備にむけ、測量・設計に着手します。（P7別紙-4）
- 一般国道4号の白河市内において、休憩機能・情報発信機能・地域連携機能を持った簡易パーキング（道の駅）の整備にむけ、測量・設計に着手します。
- 都市防災の機能を高め、都市景観の向上を図るとともに、安全で快適な歩行空間を確保する目的として、一般国道4号『図景地区・大町地区』、『山崎地区』で、引き続き、無電柱化のための支障移設を行うとともに、工事を推進し、図景地区については完成を図ります。（P8別紙-5）

魅力ある都市づくり

- 交通混雑の緩和を目的とした、一般国道4号『^{しらかわ}白河拡幅』において、白河橋以北の用地買収を推進するとともに白河橋新橋の工事を推進します。(P9別紙-6)
- 交通混雑の緩和や沿道環境の改善を目的とした、一般国道4号『^{かがみいし}鏡石拡幅』において、北側工区の用地買収を推進します。
- 都市計画道路大町横塚線と連携し、交通混雑の解消と交通安全の確保を目的とした一般国道4号『^{おおまち}大町交差点』、『^{わかばまち}若葉町交差点』において、交差点の改良工事を推進します。(P10別紙-7)
- 都市圏の交通円滑化を図るため、バスメールサービス等公共交通機関の利便性向上に取り組みます。

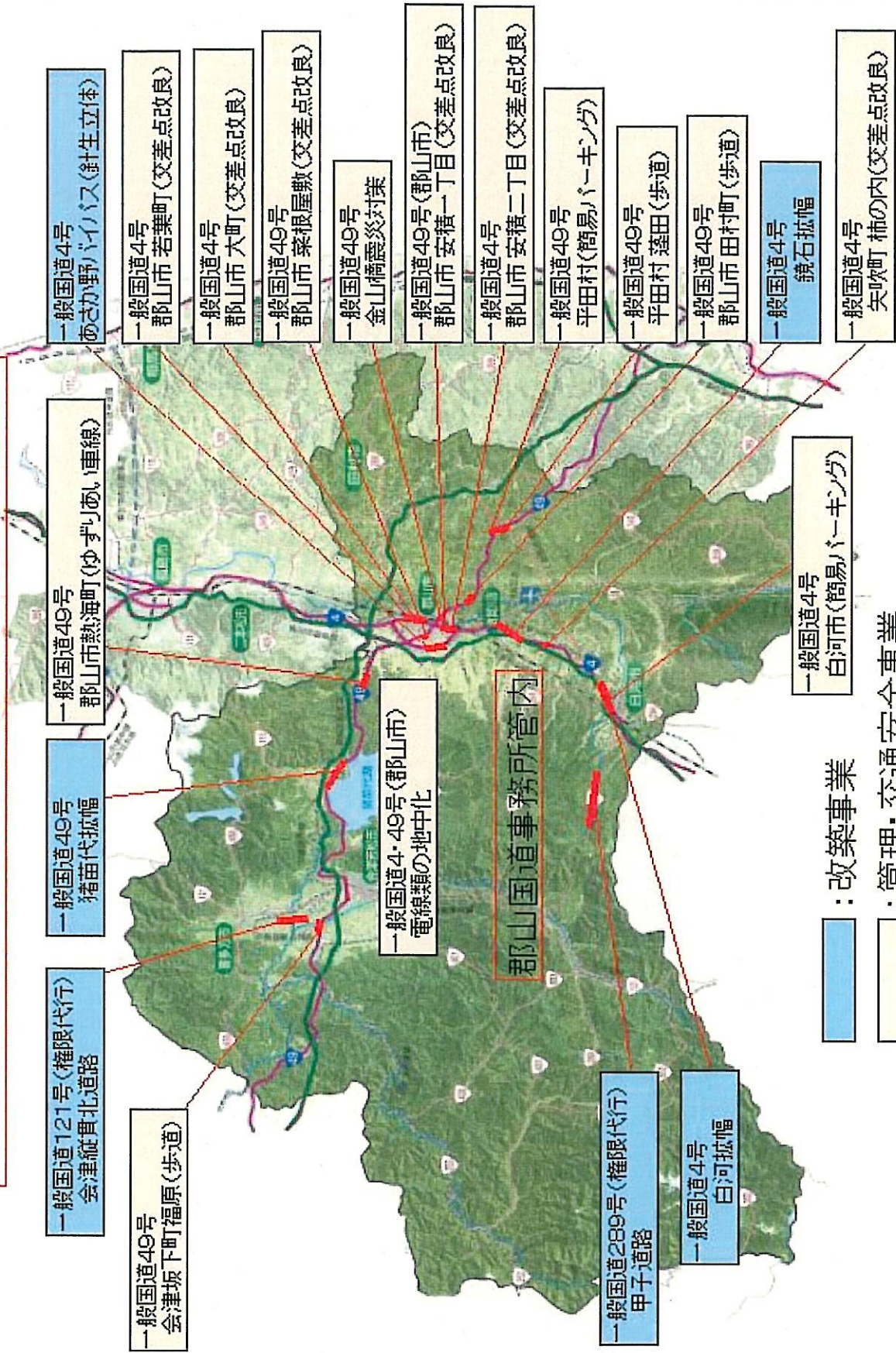


▲郡山市におけるバスメールサービス社会実験の内容

美しい東北の実現

- <個性豊かな地域の創造>・<良好な環境の保全>
- 交通不能区間の解消を図り、新たな地域間交流・連携の強化や経済活動の活性化が期待される、一般国道289号『^{かし}甲子道路』において平成19年度は管理施設及び舗装工事を推進します。(P11別紙-8)
 - 管内の一般国道4号・49号(管理延長204km)の保全等を図る維持修繕や交通安全事業の整備を推進します。さらに、都市部において沿道環境の改善を図るため、低騒音効果のある高機能舗装の推進を図ります。

平成19年度 郡山国道事務所 主要事業箇所



事業名	一般国道4号 ^{こおりやま} 郡山バイパス (直轄) (福島県須賀川市仁井田～本宮市荒井)
-----	---

事業着手: 昭和49年度	
--------------	--

事業の必要性・事業の概要	
--------------	--

「事業の必要性」

全線4車線供用により、平面交差点3箇所が連続している針生地区は渋滞が悪化しています。このため、台新交差点を含む針生地区の立体化(針生高架橋)を進め、交通混雑の解消及び交通の適切な分散導入を図り、円滑な交通を確保が必要となっています。

「事業の概要」

あさか野バイパス(郡山バイパス)は、郡山市街地の交通混雑の緩和や交通の適切な分散導入により都市圏交通の円滑化を目的とした、延長17.2kmの4車線道路であり、平成7年4月にバイパス部(14.1km)が地域高規格道路に指定されています。平成14年度には全線4車線供用を図り、平成19年3月には針生地区の立体化(針生高架橋)の暫定2車線供用を図りました。



▲針生高架橋 (暫定2車線供用)



▲針生高架橋完成予想図

平成19年度の事業内容	
-------------	--

○平成19年度は、主要渋滞ポイントである台新交差点を含む針生地区の立体化(針生高架橋)の完成4車線化に向けた工事を推進します。

事業効果	
------	--

- 針生高架橋の供用により、針生地区の交通混雑が緩和されます。
- 東北自動車道・磐越道等、各種高速交通機関へのアクセス機能の充実が図られます。

事業名	一般国道121号 <small>あいづじゅうかんきた</small> 会津縦貫北道路(直轄権限代行) (福島県喜多方市関柴町～会津若松市高野町)
-----	---

事業着手:平成9年度	
------------	--

事業の必要性・事業の概要	
--------------	--

「事業の必要性」

一般国道121号の喜多方市から会津若松市間は、通勤時間帯や観光シーズンにおいて交通混雑が著しいため、会津縦貫北道路の整備により、交通混雑の緩和及び交通安全の確保が必要となっています。

「事業の概要」

会津縦貫北道路は、一般国道121号の喜多方市から会津若松市間の交通混雑の緩和を目的とした延長13.1kmの地域高規格道路です。



▲交通混雑する一般国道121号

平成19年度の事業内容	
-------------	--

○平成19年度は起点～湯川I. C間の改良工事及び、日橋川橋上部工・下部工工事を推進します。

事業効果	
------	--

- 会津縦貫北道路の供用により喜多方～会津若松間の所要時間が約30%(39分→29分)短縮されます。
- 走行速度が向上し、CO2の排出量削減され、地球環境の改善に貢献します。

事業名	一般国道49号 ^{かねやまばし} 金山橋震災対策 (直轄) (福島県郡山市田村町～安積町) ^{こおりやましたむらまち あさかまち}
-----	--

事業着手:平成19年度	完成・供用の目標年度:平成19年度着手完成予定
-------------	-------------------------

事業の必要性・事業の概要	
--------------	--

「事業の必要性」

一般国道49号金山橋は、一級河川・阿武隈川を横架する橋長192mの長大橋であり、福島県の主要都市である郡山市といわき市を結び、緊急輸送道路に指定されています。

当該橋梁は、近年、大規模地震の発生する確率が極めて高いこと等を踏まえ、地震で被災した場合、緊急輸送道路の分断が予想されるとともに、地域の社会・経済活動に大きな支障をきたす恐れがあるため、早急な対応が求められています。

「事業の概要」

金山橋震災対策事業は、地震による落橋防止構造の設置、及び炭素繊維による橋脚の補強を行い、橋梁の耐震性の向上を図るため、平成19年度より事業に着手します。

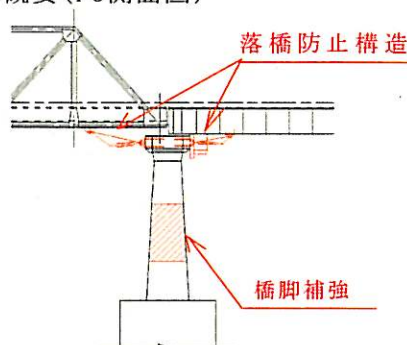
▼位置図



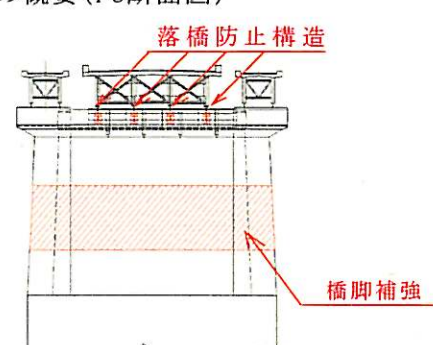
▼金山橋全景



▼補強の概要 (P5側面図)

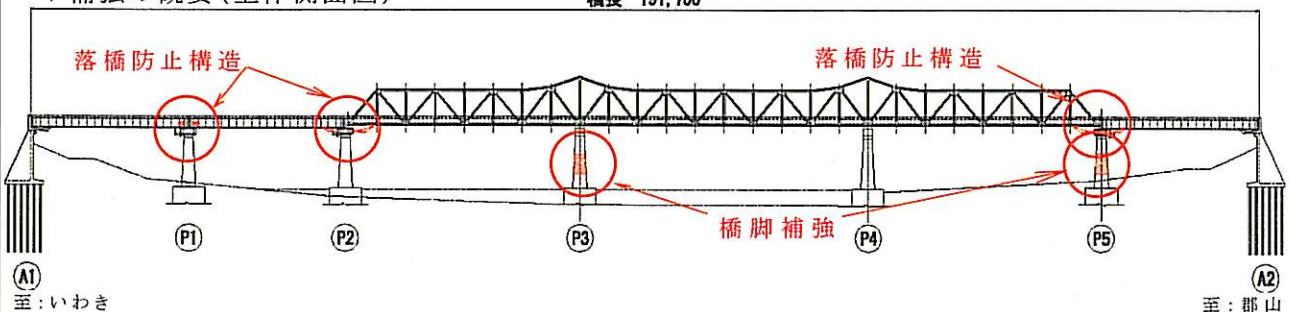


▼補強の概要 (P5断面図)



▼補強の概要 (全体側面図)

橋長 191,700



平成19年度の事業内容

○橋脚補強の整備を推進し、金山橋の震災対策の完了を図ります。

事業効果

○橋梁の耐震性能の向上によって、緊急輸送道路ネットワークの確保を図ります。

事業名	一般国道49号 ^{あこがしま} 安子島ゆずりあい車線整備事業 (直轄) (^{あたままちあこがしま} 福島県熱海町安子島)
-----	--

事業着手:平成19年度	
-------------	--

事業の必要性・事業の概要	
--------------	--

「事業の必要性」

一般国道49号安子島地区の上り線は、低速車両により後続車の渋滞が頻繁に発生しており、これに伴う追突事故が多発しています。

「事業の概要」

安子島ゆずりあい車線整備事業は、上り線にゆずりあい車線を設置することで、低速車と一般走行車とを分離し、渋滞の緩和と交通事故の低減を図り、走行車両の円滑な通行を確保します。



▲渋滞の発生状況

平成19年度事業費及び事業内容	
-----------------	--

- 平成19年度は、測量・設計に着手します。

事業効果	
------	--

- 上り線に、ゆずりあい車線を設置することで、走行車両の円滑な通行を確保することができ、交通渋滞の緩和が図れます。

事業名 一般国道4号・49号 電線類の地中化 (直轄)
こおりやまし
 (福島県郡山市)

事業着手:平成16年度

完成・供用の目標年度:図景地区平成19年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

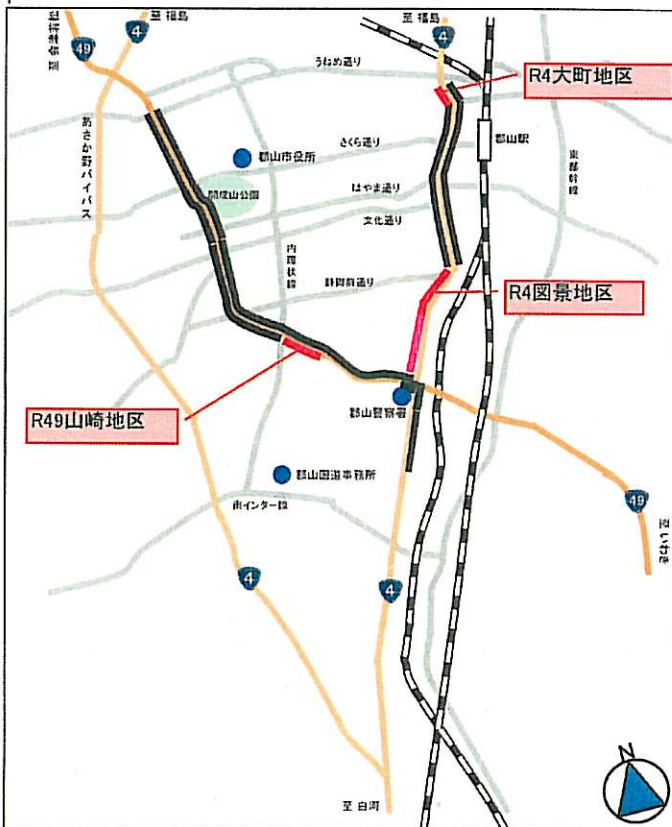
「事業の必要性」

都市防災の機能を高め、都市景観の向上を図るとともに、安全で快適な歩行空間を確保するために、引き続き電線類地中化の推進を図ります。

「事業の概要」

地上上空にある電線類を歩道下の地中に集約して埋設することにより、道路上の電線、電柱がなくなるため、視界が良好で町並みがすっきりし、安全で快適な歩行空間が確保され、防災機能が強化されます。

▼位置図



▼整備前の状況



▼整備後の状況



平成19年度事業費及び事業内容

○ 平成19年度は、国道4号図景地区・大町地区、国道49号山崎地区で支障移設を行い、工事を推進し、図景地区については完成を図ります。

事業効果

- 電線、電柱がなくなることで都市景観の向上と防災機能の向上が図られます。
- 歩道内の電柱がなくなることで安全で快適な歩道空間を確保することができます。

事業名	一般国道4号 <small>おおまち</small> 大町交差点・ <small>わかばまち</small> 若葉町交差点改良事業 (直轄) (福島県郡山市赤木町 <small>こおりやましあかぎまち</small> ～若葉町 <small>わかばまち</small>)
-----	---

事業着手:平成12年度	
-------------	--

事業の必要性・事業の概要	
--------------	--

「事業の必要性」

一般国道4号大町交差点及び若葉町交差点は、郡山市が建設している都市計画道路大町横塚線が当該交差点に取り付き、交通量が増加することから、交通混雑の緩和を目的に都市計画道路整備と連携し整備するものです。

「事業の概要」

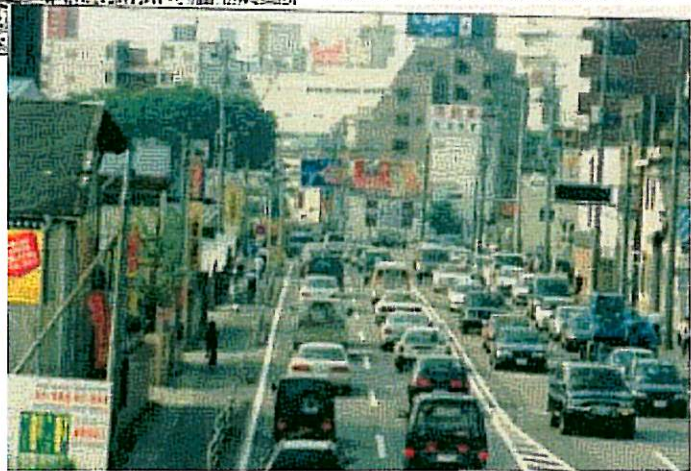
大町交差点・若葉町交差点改良事業は、大町交差点と若葉町交差点間の車線数を増やすほか、バス停車帯を設置することにより、渋滞の緩和を図ります。

また、大町交差点が急カーブになっていることから、車両の安全確保を図るため、急カーブの改善を図ります。

▼位置図



▼混雑する大町交差点付近



平成19年度事業費及び事業内容	
-----------------	--

- 平成19年度は、大町交差点と若葉町交差点の改良工事を推進します。

事業効果	
------	--

- 車線数を増やすほか、バス停車帯を設置し渋滞緩和を図ります。
- 急カーブを改善することにより、走行車両の安全確保に貢献します。
- 渋滞を緩和することにより、排気ガスの排出量を減少させ、沿道環境の保全に貢献します。

